

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎作業学		講義・演習	岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
私たちの生活はすべて作業から成り立っている。この講義では、作業が人の健康にどのように影響を及ぼしているのかを理解し、作業を治療に用いることができるようになることを目指す。 具体的には作業が持つ意味や特性を学び、作業分析と活動分析を行う。				
授業の到達目標				
1. 作業療法における作業とは何かを考えられる。 2. 人にとっての作業の意味を考えられる。 3. 作業の形態について説明できる。 4. 作業は人の生活の中で何の役に立っているのかを説明できる。 5. 作業分析ができる。 6. 作業の治療的応用について考えられる。				
授業計画				
回	内容			
1	作業と作業療法について			
2	作業活動について			
3	人と作業			
4	作業と生活機能			
5	道具・材料・環境			
6	作業分析の目的			
7	作業分析①演習			
8	作業分析②演習			
9	作業分析③演習			
10	作業分析まとめ			
11	レクリエーション演習分析①			
12	レクリエーション演習分析②			
13	レクリエーション演習分析③			
14	レクリエーション演習分析まとめ			
15	基礎作業学 まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	30%	作業分析・レクリエーション演習分析 課題		
小テスト				
平常点				
その他	70%	プレゼンテーション 作品の出来栄え 授業への参加態度		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
作業、その治療的応用	日本作業療法士協会		協同医書	
ひとと作業・作業活動	山根寛		三輪書店	
自由記載				
備考				